

たかしん 景況レポート

WAVE

Vol.203

目次

- 第203回景気動向調査
2026年1－3月期
- 特別調査
「中小企業経営者のライフデザイン」
- シリーズ「上野三碑かるた・う」
- 店舗紹介（井野支店）



高崎信用金庫

全業種総合

回答420企業（回答率94.0%）

今期の業況 (2026年1-3月期)

業況は6業種中5業種で低下

全業種合計の業況判断指数(DI)は、前回調査(2025年10-12月期)の $\Delta 9$ から5ポイント低下の $\Delta 14$ となり、6業種中5業種で低下となった。

業種別DI値は、製造業は $\Delta 22$ (前期比6ポイント低下)、卸売業は $\Delta 24$ (同比19ポイント低下)、小売業は $\Delta 20$ (同比3ポイント低下)、建設業は $\Delta 5$ (前

期と変わらず)、サービス業は $\Delta 10$ (同比5ポイント低下)、不動産業は $+16$ (同比1ポイント低下)となり、製造業、卸売業、小売業、サービス業、不動産業の5業種で低下し、最も低下幅が大きかったのは卸売業であった。

来期の業況 (2026年4-6月期)

来期はわずかに上昇を予想











































来期の全業種合計の予想業況判断指数(DI)は、今期に比べ3ポイント上昇の $\Delta 11$ となり、わずかに上昇を予想している。

業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業の4業種で上昇、建設業、不動産業の2業種で低下の見通し。

高崎地区の景況天気図

今期

来期予想

	2025年 1-3月期	2025年 4-6月期	2025年 7-9月期	2025年 10-12月期	2026年 1-3月期	2026年 4-6月期
全業種	 $\Delta 16$	 $\Delta 15$	 $\Delta 21$	 $\Delta 9$	 $\Delta 14$	 $\Delta 11$
製造業	 $\Delta 26$	 $\Delta 31$	 $\Delta 36$	 $\Delta 16$	 $\Delta 22$	 $\Delta 11$
卸売業	 $\Delta 36$	 $\Delta 31$	 $\Delta 14$	 $\Delta 5$	 $\Delta 24$	 $\Delta 11$
小売業	 $\Delta 22$	 $\Delta 10$	 $\Delta 23$	 $\Delta 17$	 $\Delta 20$	 $\Delta 15$
建設業	 $\Delta 5$	 $\Delta 11$	 $\Delta 13$	 $\Delta 5$	 $\Delta 5$	 $\Delta 18$
サービス業	 $\Delta 8$	 $\Delta 7$	 $\Delta 25$	 $\Delta 5$	 $\Delta 10$	 $\Delta 3$
不動産業	 $+17$	 $+13$	 $+10$	 $+17$	 $+16$	 $+13$

←好調



低調→



項目別にみると、売上額DIはΔ12、前期比15ポイント低下、収益DIはΔ14、前期比9ポイント低下した。

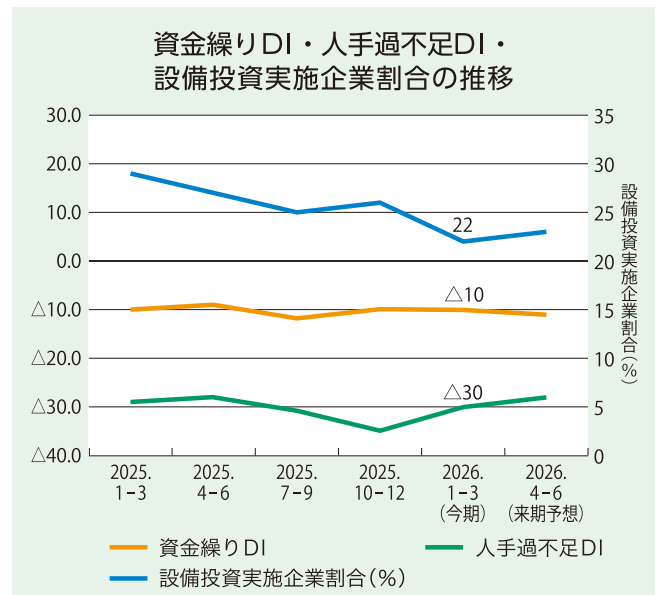
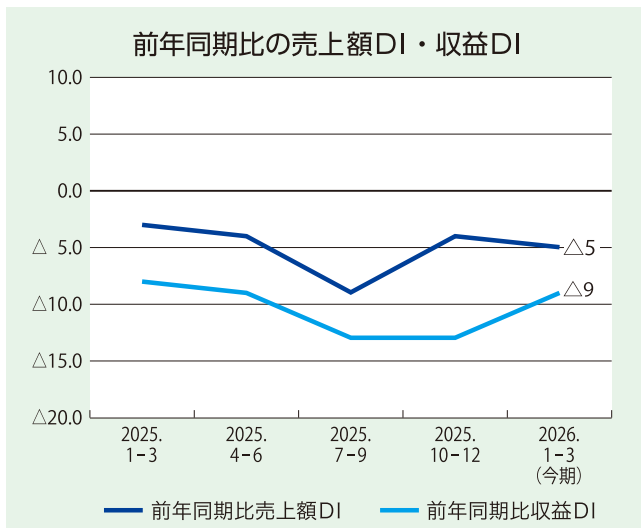
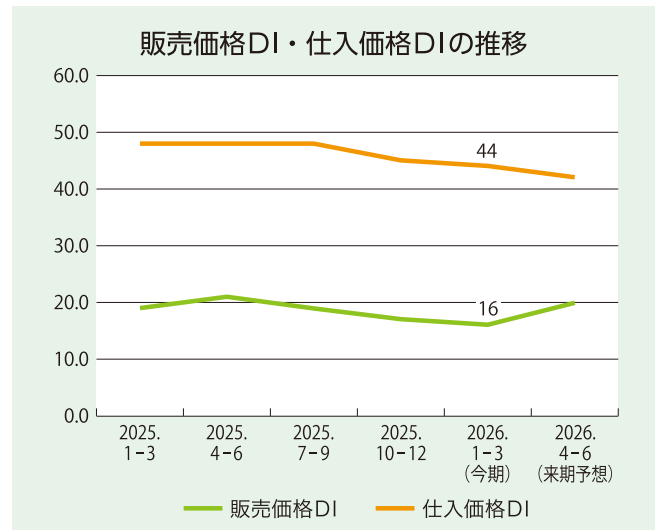
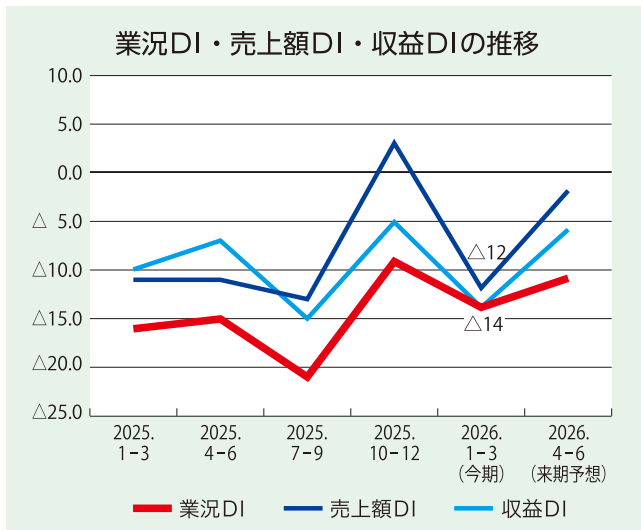
販売価格DIは+16、前期比1ポイント低下、仕入価格DIは+44、前期比1ポイント低下した。

前年同期比売上額DIはΔ5、前期比1ポイントの低下、同収益DIはΔ9、前期比4ポイント上昇した。

雇用面では、人手過不足DIがΔ30（マイナス幅が大きいと人手不足感が強い、前期はΔ35）で人手不足感はわずかに弱まった。

資金繰り面では、資金繰りDIはΔ10で、前期と変わらず。

設備の状況は、設備投資実施企業割合は22%、前期比4ポイント低下した。



第203回景気動向調査 調査概要

1. 調査時期：2026年1～3月
2. 調査地域：高崎市
3. 調査方法：アンケート用紙に基づく面談調査
4. 分析方法：各質問事項で「増加・上昇」したとする企業が全体に占める構成比と、「減少・下落」したとする企業の構成比との差（判断DI）を中心に分析を行いました。
5. 対象企業：447社（有効回答数420社・回答率94.0%）



製造業

106企業

今期

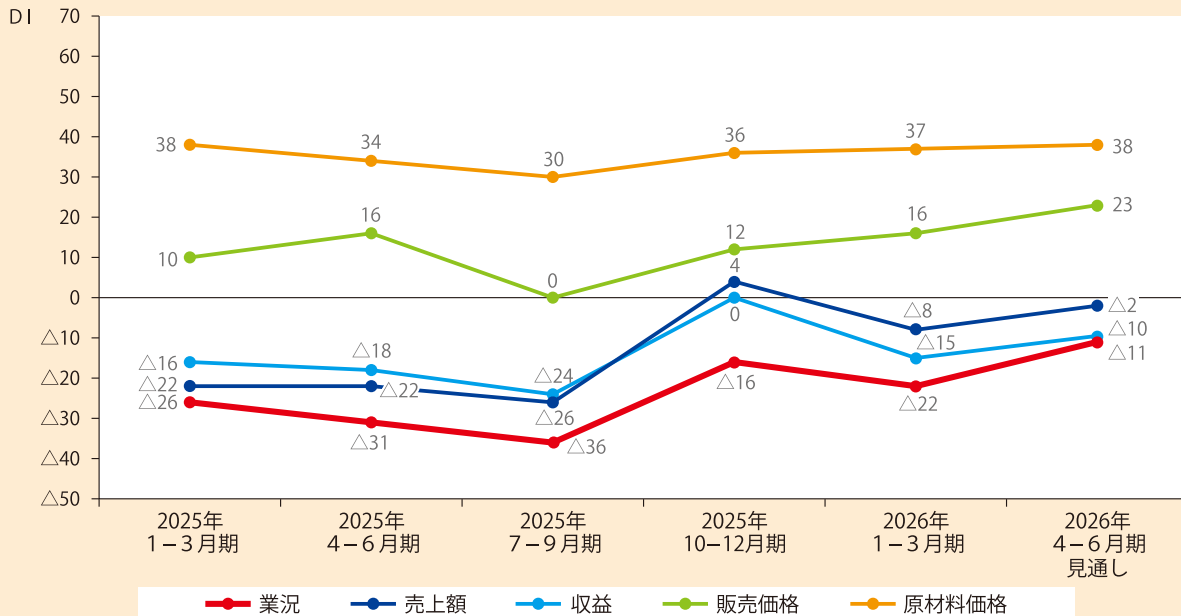


△22

来期予想



△11



今期の業況 (2026年1-3月期)

製造業の業況DIは△22、前期比6ポイント低下し、わずかに低下した。

売上額DIは△8、前期比12ポイント低下、収益DIは△15、同比15ポイント低下した。

原材料価格DIは+37、同比1ポイント上昇し、2期連続で上昇した。

人手過不足DIは△21となり、人手不足感がわずかに弱まった。

設備投資実施企業割合は21%となり、前期比9ポイント低下した。

来期の業況 (2026年4-6月期)

来期の予想業況判断DIは△11と、今期実績比11ポイント上昇を見込んでいる。

各種DIの状況

	2025年 10-12月期	2026年 1-3月期	2026年 4-6月期 (見通し)
業況	△16	△22	△11
売上額	4	△8	△2
収益	0	△15	△10
販売価格	12	16	23
原材料価格	36	37	38
人手過不足	△25	△21	△24
資金繰り	△15	△16	△16
設備投資実施企業割合 (%)	30	21	29

経営上の問題点

(複数回答)

- ・ 売上の停滞・減少 48%
- ・ 原材料高 33%
- ・ 人件費の増加 28%

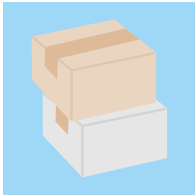
当面の重点経営施策

(複数回答)

- ・ 販路を広げる 60%
- ・ 経費を節減する 35%
- ・ 人材を確保する 33%

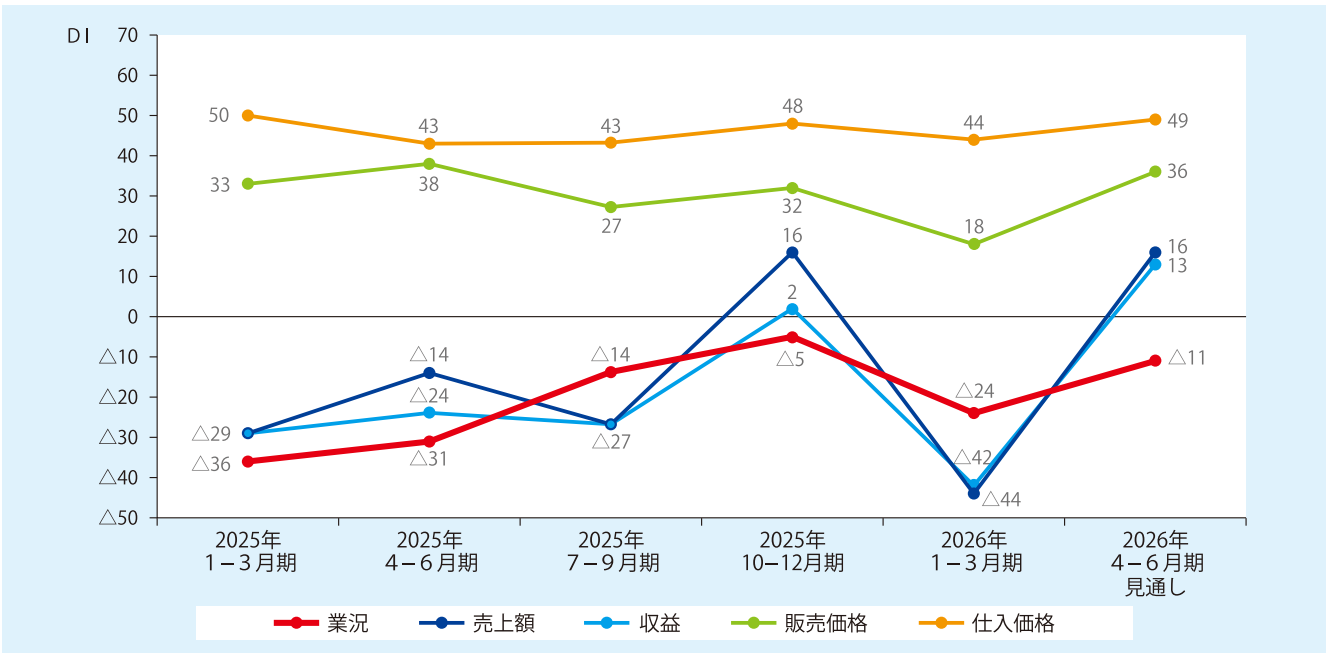
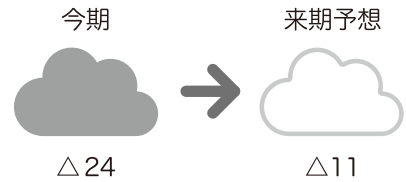
調査員のコメント

- 補助金・助成金を活用し経営基盤の強化を図っていく。
- 受注はあるが、人手不足により納期が間に合うかが悩みとなっている。
- 業況は横ばい推移。人材確保のため賃上げを実施しているので利益の確保が課題。



卸売業

45企業



今期の業況 (2026年1-3月期)

卸売業の業況判断DIは△24、前期比19ポイント低下し、4期ぶりに低下した。

売上額DIは△44、同比60ポイント低下、収益DIは△42、同比44ポイント低下し、いずれも大幅に低下した。

仕入価格DIは+44、前期比4ポイント低下した。

人手過不足DIは△33となり、人手不足感はわずかに弱まった。

設備投資実施企業割合は33%となり、前期比8ポイント上昇した。

来期の業況 (2026年4-6月期)

来期の予想業況判断DIは△11と、今期実績比13ポイント上昇を見込んでいる。

各種DIの状況

	2025年 10-12月期	2026年 1-3月期	2026年 4-6月期 (見通し)
業況	△5	△24	△11
売上額	16	△44	16
収益	2	△42	13
販売価格	32	18	36
仕入価格	48	44	49
人手過不足	△36	△33	△24
資金繰り	0	7	7
設備投資実施企業割合(%)	25	33	33

経営上の問題点

(複数回答)

- ・ 売上の停滞・減少 48%
- ・ 同業者間の競争の激化 28%
- ・ 人手不足 24%

当面の重点経営施策

(複数回答)

- ・ 販路を広げる 60%
- ・ 情報力を強化する 57%
- ・ 人材を確保する 35%

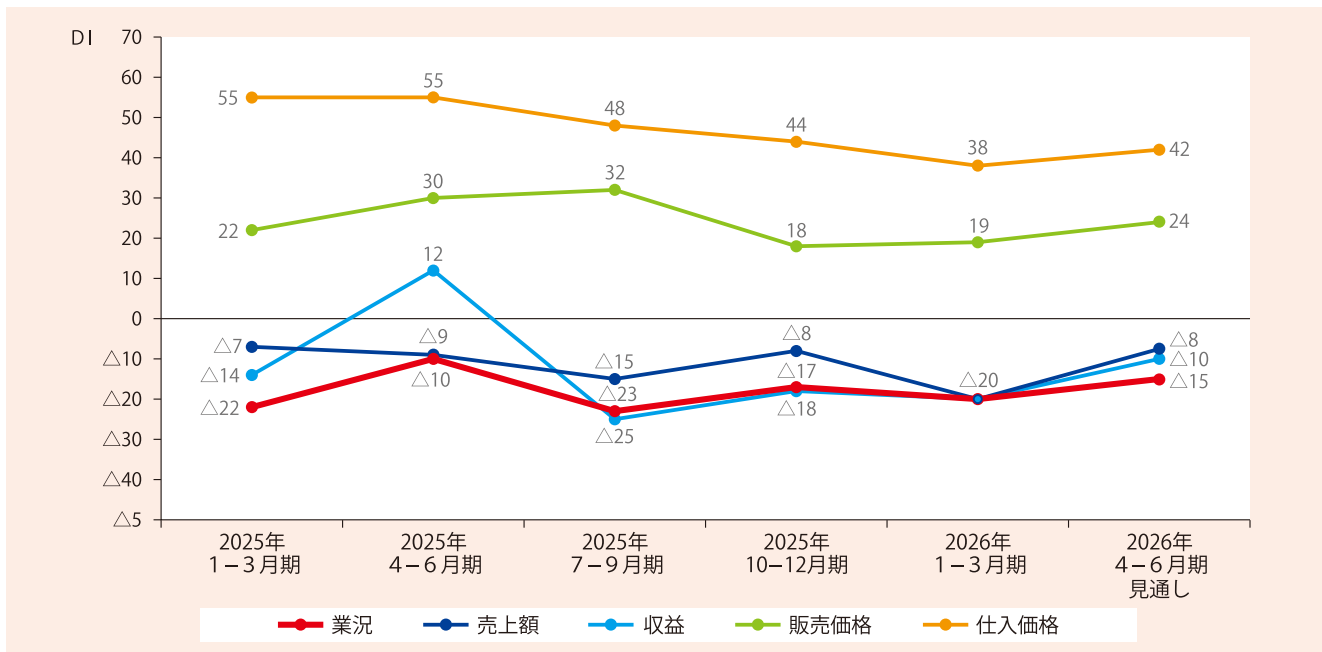
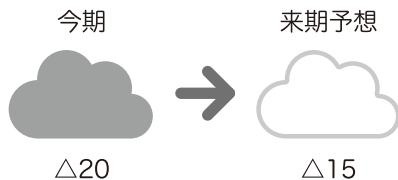
調査員のコメント

- 大手ドラッグストアに押され売上は厳しく、新規開拓のため営業活動を強化している。
- 自治体の防災対策への意識が高まっており、追い風の状態が続いている。
- 仕入価格上昇、収益減少が課題。今後は経費節減、情報力強化に注力していく。



小売業

86企業



今期の業況 (2026年1-3月期)

小売業の業況DIは△20、前期比3ポイント低下し、わずかに低下した。

売上額DIは△20、同比12ポイント低下、収益DIは△20、同比2ポイント低下した。

仕入価格DIは+38、同比6ポイント低下し、3期連続で低下した。

人手過不足DIは△23となり、人手不足感はほぼ横ばいとなっている。

設備投資実施企業割合は14%となり、前期比1ポイント上昇した。

来期の業況 (2026年4-6月期)

来期の予想業況DIは△15と、今期実績比5ポイント上昇を見込んでいる。

各種DIの状況

	2025年 10-12月期	2026年 1-3月期	2026年 4-6月期 (見通し)
業況	△17	△20	△15
売上額	△8	△20	△8
収益	△18	△20	△10
販売価格	18	19	24
仕入価格	44	38	42
人手過不足	△25	△23	△22
資金繰り	△16	△20	△19
設備投資実施企業割合 (%)	13	14	16

経営上の問題点

(複数回答)

- ・ 売上の停滞・減少 41%
- ・ 利幅の縮小 24%
- ・ 仕入先からの値上げ要請 22%

当面の重点経営施策

(複数回答)

- ・ 経費を節減する 41%
- ・ 宣伝・広告を強化する 24%
- ・ 品揃えを改善する 23%

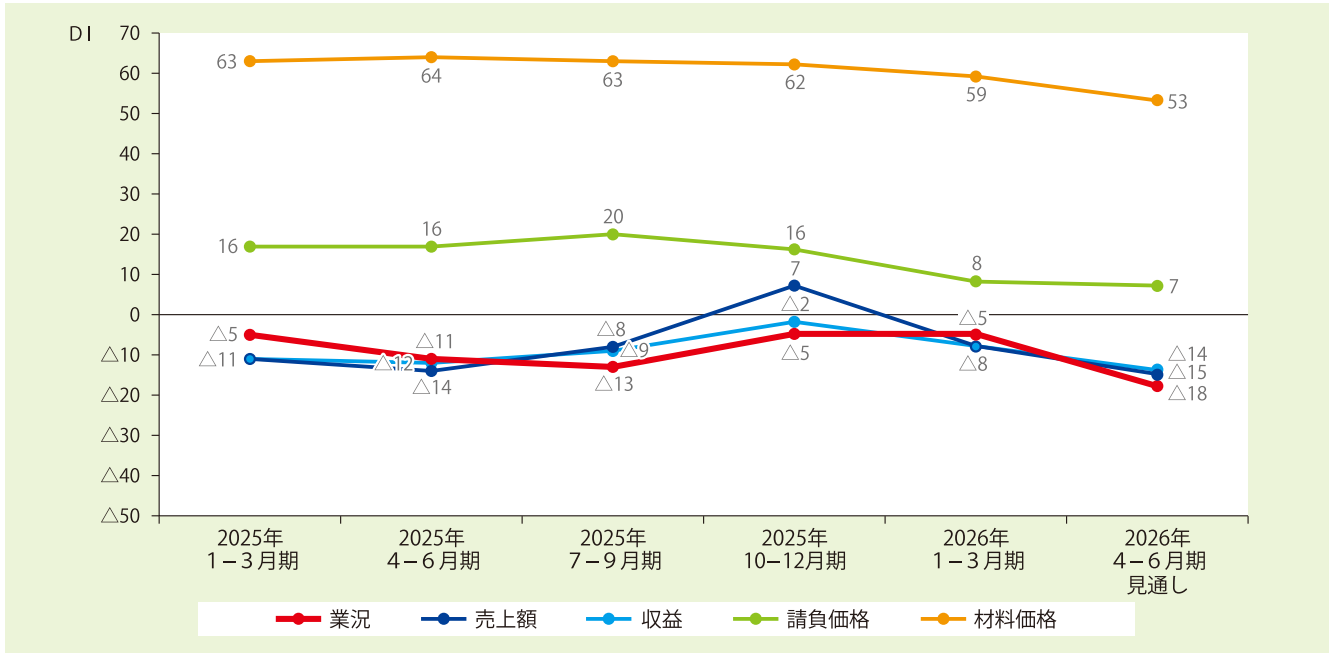
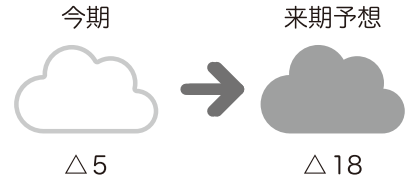
調査員のコメント

- 仕入価格がさらに高騰しているため、厳しい状況である。
- 店舗改装により、メインであるカーテン販売に力を入れている。
- 更なる知名度向上のため、イベントや雑誌の露出を増やしている。



建設業

92企業



今期の業況 (2026年1-3月期)

建設業の業況DIは△5、前期と変わらず。
 売上額DIは△8、同比15ポイント低下、収益DIは△8、同比6ポイント低下した。
 材料価格DIは+59、同比3ポイント低下し、3期連続で低下した。
 人手過不足DIは△48となり、人手不足感はわずかに弱まった。
 設備投資実施企業割合は23%となり、前期比10ポイント低下した。

来期の業況 (2026年4-6月期)

来期の予想業況DIは△18と、今期実績比13ポイント低下を見込んでいる。

各種DIの状況

	2025年 10-12月期	2026年 1-3月期	2026年 4-6月期 (見通し)
業況	△5	△5	△18
売上額	7	△8	△15
収益	△2	△8	△14
請負価格	16	8	7
材料価格	62	59	53
人手過不足	△51	△48	△43
資金繰り	△6	△2	△8
設備投資実施企業割合(%)	33	23	18

経営上の問題点

(複数回答)

- ・ 材料価格の上昇 56%
- ・ 人手不足 54%
- ・ 売上の停滞・減少 34%

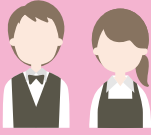
当面の重点経営施策

(複数回答)

- ・ 人材を確保する 58%
- ・ 経費を節減する 45%
- ・ 販路を広げる 43%

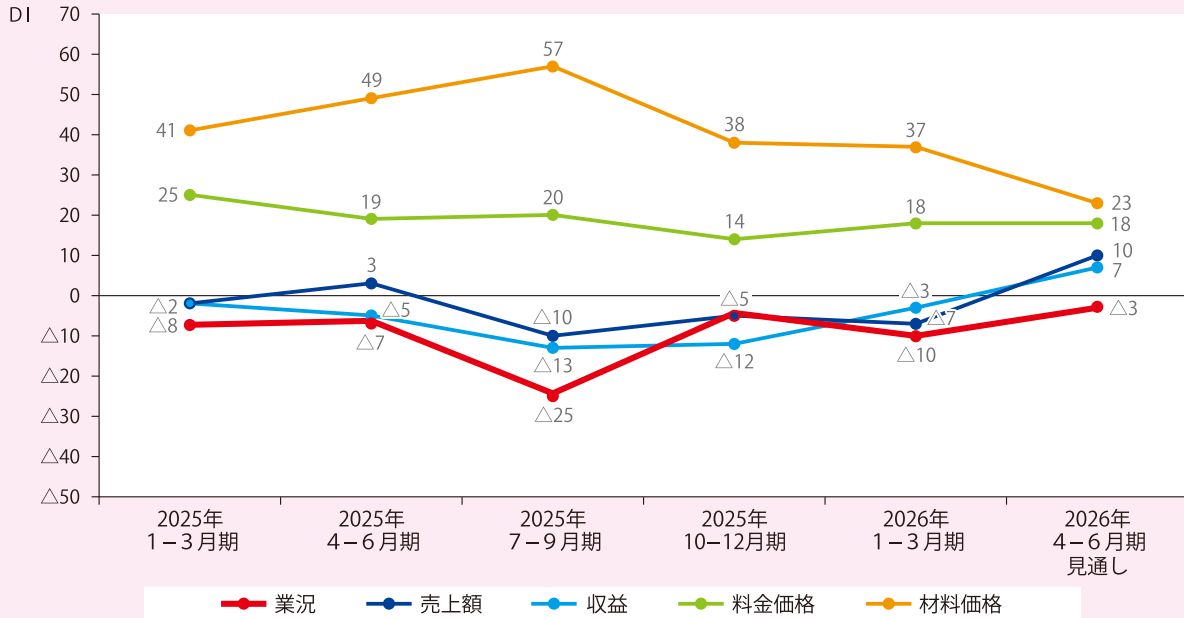
調査員のコメント

- 営業活動を始めたので、リフォームなどの依頼が増えている。
- 従業員の雇用維持、モチベーションアップのため賃上げは優先的に行っている。
- 受注量は増加しているが、人手不足により現場の回転率は低下している。



サービス業

60企業



今期の業況 (2026年1-3月期)

サービス業の業況DIは△10、前期比5ポイント低下し、わずかに低下した。

売上額DIは△7、同比2ポイント低下、収益DIは△3、同比9ポイント上昇した。

料金価格DIは+37、前期比1ポイント低下した。

人手過不足DIは△37となり、人手不足感はやや弱まった。

設備投資実施企業割合は25%となり、前期比4ポイント低下した。

来期の業況 (2026年4-6月期)

来期の予想業況DIは△3と、今期実績比7ポイント上昇を見込んでいる。

各種DIの状況

	2025年 10-12月期	2026年 1-3月期	2026年 4-6月期 (見通し)
業況	△5	△10	△3
売上額	△5	△7	10
収益	△12	△3	7
料金価格	14	18	18
材料価格	38	37	23
人手過不足	△45	△37	△33
資金繰り	△16	△13	△15
設備投資実施 企業割合 (%)	29	25	18

経営上の問題点

(複数回答)

・売上の停滞・減少	43%
・人手不足	41%
・材料価格の上昇	31%

当面の重点経営施策

(複数回答)

・人材を確保する	41%
・販路を広げる	40%
・経費を節減する	38%

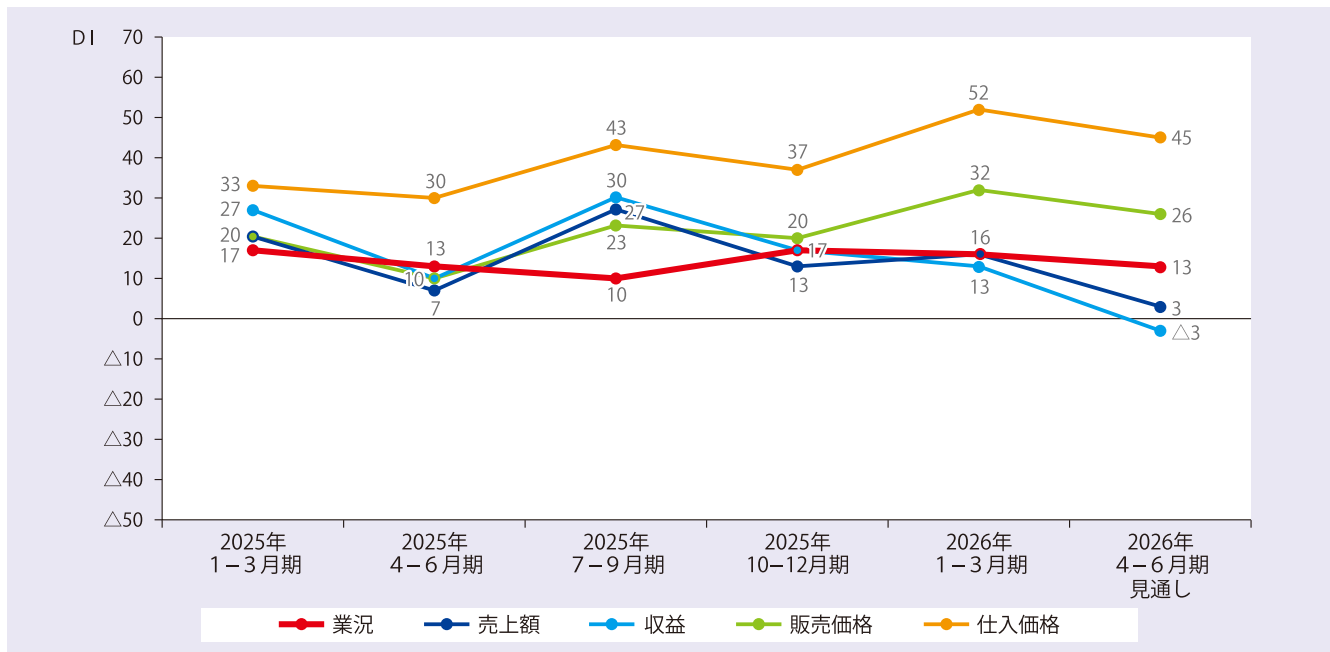
調査員の コメント

- 人手不足に伴い、受入れ可能な利用者が減少しており、売上も減少傾向である。
- 若年層の技術力向上のため、教育訓練の機会をより多く設けていきたい。
- 後継者については従業員の中から選び、時間をかけて育てていきたい。



不動産業

31企業



今期の業況 (2026年1-3月期)

不動産業の業況DIは+16、前期比1ポイント低下し、ほぼ横ばい。

売上額DIは+16、同比3ポイント上昇、収益DIは+13、同比4ポイント低下した。

仕入価格DIは+52、同比15ポイント上昇した。

人手過不足DIは△13となり、人手不足感は小幅に弱まった。

来期の業況 (2026年4-6月期)

来期の予想業況DIは+13と、今期実績比3ポイント低下を見込んでいる。

各種DIの状況

	2025年 10-12月期	2026年 1-3月期	2026年 4-6月期 (見通し)
業況	17	16	13
売上額	13	16	3
収益	17	13	△3
販売価格	20	32	26
仕入価格	37	52	45
人手過不足	△27	△13	△6
資金繰り	7	0	△3

経営上の問題点

(複数回答)

- 商品物件の不足 48%
- 利幅の縮小 38%
- 商品物件の高騰 38%

当面の重点経営施策

(複数回答)

- 情報力を強化する 64%
- 販路を広げる 38%
- 宣伝・広告を強化する 35%

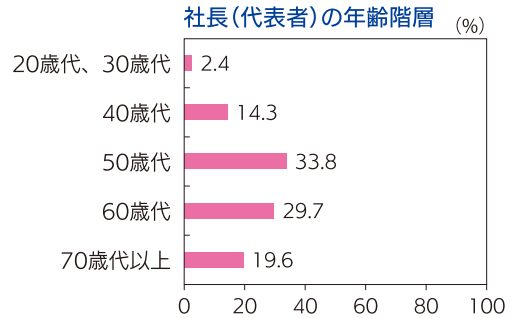
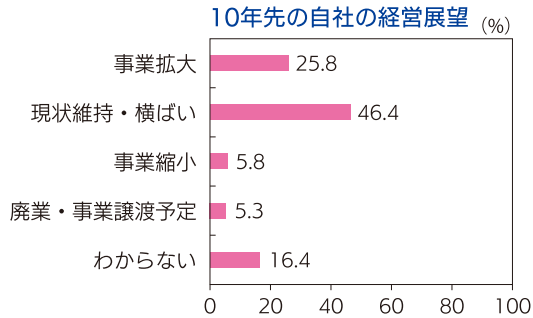
調査員のコメント

- 商品物件の高騰、経費の増加が問題である。
- 空き家管理業務を始めており、少しずつではあるが顧客も増えている。
- 不動産オーナーの相続、法人向けの不動産コンサルを商機と捉えている。

今回は、中小企業経営者のライフデザインについて、当金庫のお客さま420企業に特別調査を実施いたしました。

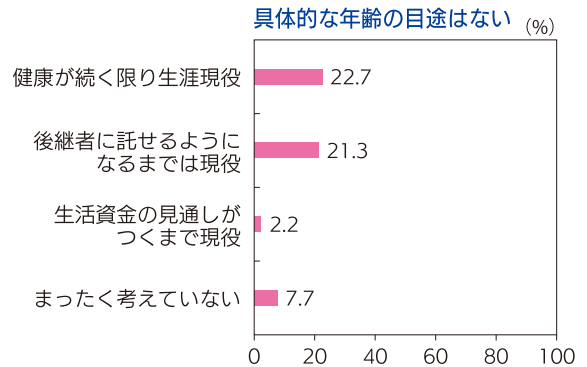
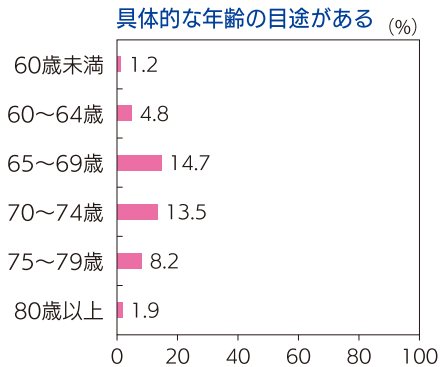
問1

社長（代表者）は、今後の10年先の自社の経営について、どのように展望していらっしゃいますか。現在の社長（代表者）の年齢階層と併せて、1つ選んでお答えください。



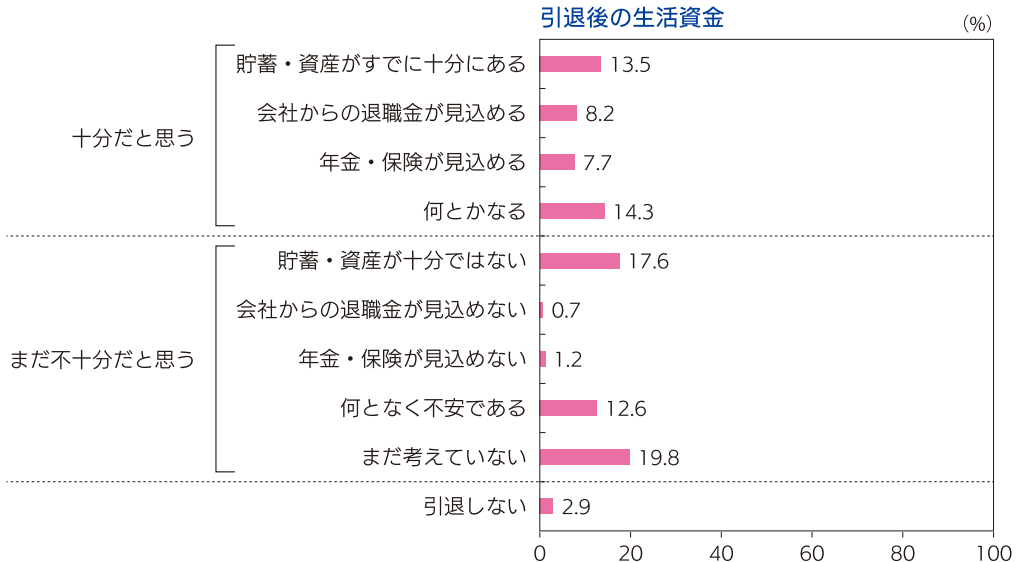
問2

社長（代表者）は、経営者としていつ頃まで現役を続けたいとお考えですか。具体的な年齢の目途がある方、そうでない方、それぞれ最も当てはまるものを、1つ選んでお答えください。



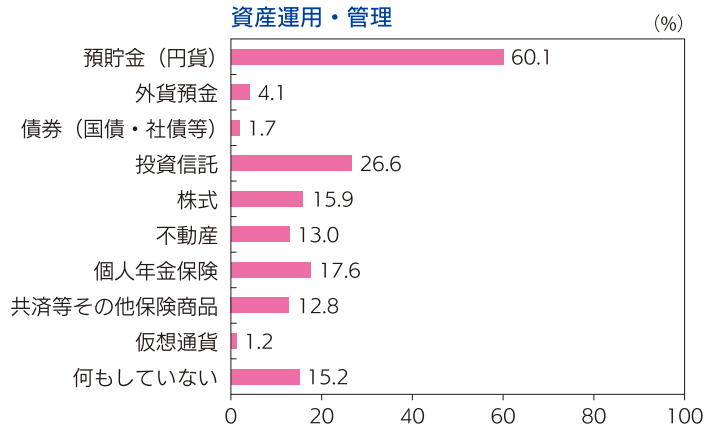
問3

社長（代表者）は、経営者を引退した後の生活資金についてどのようにお考えですか。最も当てはまるものを、1つ選んでお答えください。



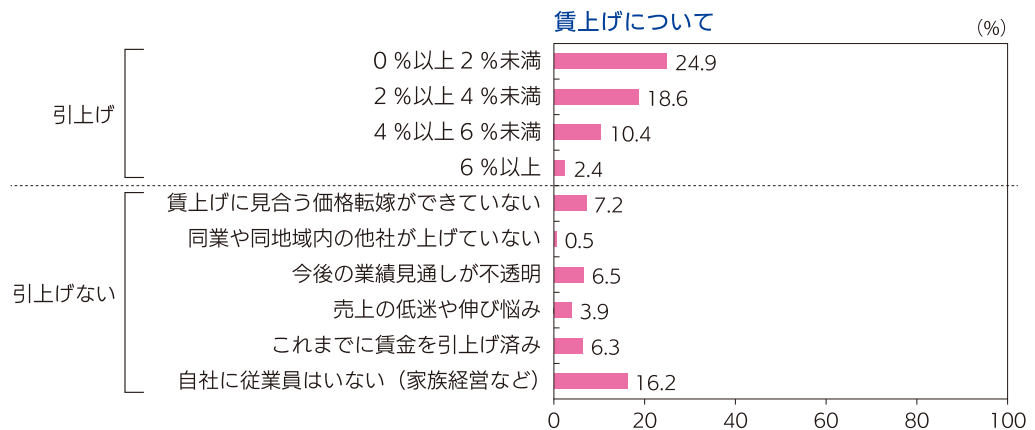
問4

社長（代表者）は、個人としてどのような資産管理・運用をしていらっしゃいますか。主なものについて3つ以内で選んでお答えください。



特別設問
問5

貴社では、人材定着などに向けて、2026年中に賃金（定期昇給分除く、賞与や一時金除く）の引上げを実施（実施予定を含む）しますか。引上げる場合はその賃金引上げ率について1つ選んでお答えください。また、引上げない場合はその理由について1つ選んでお答えください。

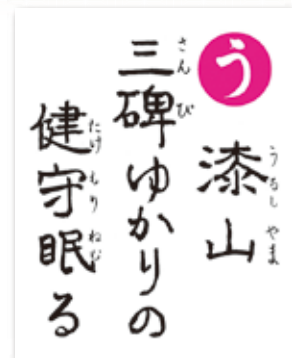


こう ずけ さん び
上野三碑かるた

読み札を紹介します④

高崎信用金庫は、ユネスコ「世界の記憶」に登録された文化遺産、上野三碑の普及推進活動に取り組んでいます。

上野三碑かるたは、地域の貴重な文化遺産である上野三碑と、その所在する地域や関連する文化財にかかわるもの等を読み札にしたかるたです。読み札とともに、地域の貴重な文化遺産をご紹介します。



高崎市佐野地区にある漆山古墳は、6世紀後半の横穴式石室をもつ前方後円墳です。この地を管理し、烏川対岸の山上碑にその名の刻まれた健守命(たけもりのみこと)の墓ではないかと考えられています。

◆ 店舗紹介 ◆

井野支店

住所 〒370-0004 高崎市井野町1081-1
TEL 027-361-7024

井野支店は、昭和40年7月に8番目の店舗として開設されました。営業エリアは、市内北東部、前橋市に隣接した地域で、JR井野駅がほぼ中心に位置しています。



たかしん井野支店を紹介します！

井野支店長 清水 敬浩

当店は、職員13名で、支店長他管理職4名、預金担当4名、融資担当2名、営業担当3名で構成されています。

店舗はJR井野駅の東、旧17号線(前橋街道)沿いに位置し、井野駅周辺は個人商店、高前バイパス周辺は大手販売店があります。当店東側地区は学校も多いことから、一般住宅やアパートがあり、近年は、魅力的な飲食店も点在するエリアとなっています。

井野支店には「信和会」というお客さまを会員とした後援会団体があり、毎年恒例のゴルフやボーリング大会、クリスマス会などの行事を通して、会員同士の交流も図っています。

昭和40年7月に開設以来、当地で約60年にわたり営業を続けておりますが、その間、昭和54年11月に2代目店舗(旧店舗)へ移転、そして令和8年2月に3代目店舗(新店舗)へ新築移転オープンを迎えることができました。

これもひとえに地域の皆さまのご愛顧の賜物と感謝するとともに、これからも当地で一番身近で安心して相談できる金融機関になれるよう努めてまいります。



支店長、次長と預金・融資担当



営業担当

■ ■ ■ ■ ■ 井野支店新築オープン ■ ■ ■ ■ ■

令和8年2月24日、井野支店は旧店舗の向かい側に新築・移転オープンしました。

新店舗は、建築資材に環境に配慮した素材を使用しているほか、段差がなくゆとりのある動線により、ご高齢の方やお体の不自由な方にも安心してご利用いただける、次世代型店舗に生まれ変わりました。



オープンセレモニーの様子



外観



店内の様子

本レポートは、情報提供のみを目的として作成したものです。掲載資料は当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、その正確性や安全性を保証するものではありません。投資等に関する最終決定はご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。

当金庫ホームページでも、たかしん景況レポートをご覧ください。

また、本調査への皆さまのご意見、ご希望がありましたら、お気軽にお寄せください。

高崎信用金庫 経営管理部 TEL.027-360-3422 (直通)

